

遺伝子改変マーマセット研究の新展開

実験動物としてのマーマセット研究の現状をレビューする。世界に先駆けてマーマセットの遺伝子改変技術を確立し、疾患モデルを開発・普及させていくための技術的課題、研究環境上の課題を明らかにし、推進の方策を提起する。それと同時に関連する研究者の情報交換の場を提供し、マーマセット研究のネットワークの構築を支援する。

SORST シンポジウム(3)

参加費:無料

2009/4/27(月) 10:00~18:00

会場:コクヨホール(東京・品川)

主催:独立行政法人 科学技術振興機構 (JST)

10:00 「開会の挨拶」

JST 発展研究 (SORST) 研究総括 吉田 光昭

第1部 「実験動物としてのマーマセットとその発生工学的研究」 (座長: 自然科学研究機構 教授 伊佐 正)

10:10~ 「マーマセット研究の総括:イントロダクション」

慶應義塾大学 医学部 教授 岡野 栄之

10:55~ 「実験動物としてのマーマセットの確立と解析方法」

(財)実験動物中央研究所 研究担当副所長 玉置 憲一

11:15~ 「マーマセットにおけるゲノムマーカーの開発とその応用」

浜松医科大学 准教授 加藤 秀樹

11:25~ 「遺伝子改変マーマセットの作出と今後の展開

~発生工学からiPSまで~」 (財)実験動物中央研究所 室長 佐々木 えりか

12:10~ 「マーマセットによる高次認知機能研究の期待と展望」

理化学研究所 脳科学総合研究センター チームリーダー 入来 篤史

<昼食休憩 12:40~13:40>

第2部 「マーマセットのバイオメディカルへの応用」 (座長: 慶應義塾大学 教授 岡野 栄之)

13:40~ 「Hepatocyte growth factorによる脊髄損傷治療戦略

~マーマセットを用いた前臨床試験~」 慶應義塾大学 医学部 北村 和也

14:05~ 「霊長類による免疫疾患モデル作成に向けた基盤整備」

順天堂大学 教授 垣生 園子

14:40~ 「ヒト血液疾患モデルとしてのマーマセットの可能性」

九州大学 生体防御医学研究所 教授 谷 憲三朗

<コーヒーブレイク 15:05~15:35>

15:35~ 「薬効評価研究に利用されるマーマセット・パーキンソン病モデルの特性

~カニクイザル・モデルとの比較~」 (財)実験動物中央研究所 安東 潔

16:00~ 「マーマセットを用いた再生心筋細胞移植モデルの開発」

慶應義塾大学 大学院医学研究科 教授 福田 恵一

第3部 「世界をリードするマーマセット研究、その課題と展望」 (座長: JST 研究総括 吉田 光昭)

16:35~ 「マウスを超える実験動物にするための克服すべき課題と期待」

自然科学研究機構 理事 勝木 元也

17:00~ 「世界及び日本の実験動物としてのマーマセットの現状と課題」

(財)実験動物中央研究所 事業担当副所長 野村 龍太

「サイエンスパーク構想の現状」

川崎市 臨海部活性化推進室 室長 小林 延秀

17:20~ 「霊長類を用いた脳科学研究の展望」

自然科学研究機構 生理学研究所 教授 伊佐 正

17:40~ 「マーマセット研究の課題と展望」

慶應義塾大学 医学部 教授 岡野 栄之

17:50~ 「閉会の挨拶」

独立行政法人 科学技術振興機構 (JST)

<研究交流会 18:15~>

■会場:コクヨホール(東京・品川)

■参加費:無料(研究交流会参加費:3,000円(当日徴収))

■お問い合わせ先

〒102-0075 東京都千代田区三番町5番地三番町ビル
 SORSTシンポジウム(3)事務局

E-mail:s-sympo3@yaesu-sorst.jst.go.jp

Tel:03-3512-3526

■申込み方法:参加ご希望の方は、下記WEB申込みフォームにて参加登録下さい。

<http://www.jst.go.jp/kisoken/sorst/>

■会場へのアクセス(住所:東京都港区港南1丁目8番35号)



※JR品川駅より徒歩5分。
 ※駐車場はございません。
 ※JR、京浜急行、都バス等
 でお越し下さい。